

令和4年度第1回横浜市精神保健福祉審議会会議録	
日時	令和4年8月4日(木) 14時～15時
開催場所	横浜市庁舎18階 みなと1・2・3会議室
出席者	天貝委員、飯島委員、池田委員、大友委員、大貫委員、金子委員、川越委員、佐伯委員、豊田委員、長尾委員、長谷川委員、樋口委員、菱本委員、山口会長
欠席者	石井委員、石渡委員、伊東委員、西井委員、三村委員、宮川委員
開催形態	公開(傍聴人0人)
議題	<p>報 告</p> <p>(1) 依存症対策事業について</p> <p>(2) 次期自殺対策計画の策定について</p> <p>(3) 令和3年度横浜市精神障害者退院サポート事業実績報告</p> <p>(4) 障害者プラン市民説明会の報告について</p> <p>(5) 「横浜市障害福祉のあんないアプリ」のリリースについて</p> <p>(6) 精神保健福祉対策事業について</p>
決定事項	報告について了承された。
事務局 健康福祉局長 事務局	<p>1. 開会</p> <p>定足数報告、注意事項について</p> <p>開会の挨拶</p> <p>事務局委員について紹介</p>
山口会長	<p>2. 報告事項</p> <p>報告事項1. 依存症対策事業について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(1) 依存症対策事業について</p> <p>昨年10月に定めた「依存症対策地域支援計画」に基づく令和3年度事業実績、令和4年度の取組、令和5年度の取組案と令和4年度第1回依存症対策検討部会での意見について説明。</p>
山口会長	<p>この件につきましては依存症検討部会において検討されております。本日、部会長の伊東委員はお休みですが、副部会長の長谷川委員、何か追加の発言などございますでしょうか。</p>
長谷川委員	<p>普及啓発については、様々な専門の先生が、地域の中や学校教育をはじめとして、アルコール、薬物、ギャンブル等についての事業を実施している一方で、家族会の方から、実際に区役所に相談に行ってもなかなか具体的に手助けしてくれるところが見えないので、どうにかなりませんかというようなお話をいただきました。精神科病院でも、精神的な問題や体の問題について、治療というアプローチはできるのですが、こうしなさいというのが難しい対応もありますので、これからそういった問題も相談していければと思っております。</p>
山口会長	<p>次に報告事項2、次期自殺対策計画の策定について、事務局から説明をお願い</p>

	<p>いたします。</p> <p>(2) 次期自殺対策計画の策定について</p>
事務局	<p>本市の自殺対策の取組状況、国の動向、第2期自殺対策計画策定について説明。</p>
山口会長	<p>自殺対策ですけれども、我々にとっては永遠の課題と言えるような問題だと思いますが、この件に関しまして、委員の皆様、ご意見・ご質問などございますでしょうか。</p>
大貫委員	<p>自殺対策について、横浜市は20年近く前から取り組んでいて、特に自死遺族への支援とか、自殺対策のゲートキーパーの育成について、全国的にも非常に評価されたと聞いています。ただ、私が聞きたいのは2点ございまして、1つは、2年度までは出ていますが、3年度について自殺者がどのくらい増えているのか減っているのか、どのように見込んでいるのかが一つ。それに対して、横浜市は今までそれなりの対策をされていると思いますが、今後どういうことに重点的に取り組もうとされているのか、その辺が分かったら、今考えている範囲で結構ですから教えてください。</p>
事務局	<p>まず、令和3年の自殺者の状況は、人口動態の統計でまだ確定値が発表されていませんが、暫定値では574人の死亡者、自殺死亡率が15.2ということで、令和2年よりもさらに増えてしまったという状況です。こういった状況を踏まえて、今後の市の取組ですが、自殺者が増えている年齢や性別として、女性が増えていることと、若い方の自殺が令和2年以降増えていて、高止まりの状況が続いていると認識しています。令和2年以降コロナ禍で、インターネットを活用した相談事業等で相談につながりやすいような検索連動広告、具体的には、グーグルで自殺に関連するようなキーワードを検索した方に、検索内容に基づいた相談窓口の表示であるとか、実際、死にたいというようなことでお悩みの方については、委託事業になりますけれども、その後メールによって細かな相談を受け、実際の窓口、医療機関も含めて取次ぎをする事業を実施しております。これは、令和2年以降、令和3年度、4年も含めて提供できる情報を増やしたり、対応できる相談者の枠を増やしたりということで、力を入れて進めています。女性と若者の自殺については非常に課題だと思っております、今後の計画策定では個別課題として、女性と若者の課題を検討していただける団体さんが現状では十分ではないので、関係する所管課とも相談しながら一緒に検討を進めてまいりたいと思っております。</p>
大貫委員	<p>ありがとうございます。</p>
山口会長	<p>そのほかに、何かご意見ございますでしょうか。菱本委員、これまでのところに関しまして何かご意見・ご発言ございますでしょうか。</p>
菱本委員	<p>横浜市は大変積極的に自殺予防、リスク評価、フォロー、遺族等へのサポー</p>

<p>山口会長</p>	<p>トをしていただけていますが、実際、臨床現場で自殺未遂で救命される方は、それまでに精神科の診療の受療をしておられなかった方ですとか、実際される前のサポートが十分できていないというところがありまして、いわゆるアウトリーチといいますか、サポートを必要としているのだけど相談にまでいけない方をどうサポートしていくのかというのが大きな課題です。今、インターネットとか、ウェブでの配信とか、若者に向けての話が出ましたが、そこを今後さらにコロナ禍において強めていただけたらと考えています。</p> <p>コロナでまた自殺者が少し増えているという話も聞いておりますので、引き続きよろしく願いいたします。続きまして、報告事項3、令和3年度横浜市精神障害者退院サポート事業実績報告について、事務局、説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 山口会長</p>	<p>(3) 令和3年度横浜市精神障害者退院サポート事業実績報告</p> <p>横浜市精神障害者退院サポート事業実績について説明</p> <p>コロナ禍でこの事業はなかなか難しいところもあったと私も承知しております。それでは、次に報告事項4、障害者プラン市民説明会の報告について、事務局、説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 山口会長</p>	<p>(4) 障害者プラン市民説明会の報告について</p> <p>令和3年3月に策定した第4期横浜市障害者プランについての、市民説明会の開催内容について説明</p> <p>続きまして報告事項5、「横浜市障害福祉のあんないアプリ」のリリースについて、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 山口会長</p>	<p>(5) 「横浜市障害福祉のあんないアプリ」のリリースについて</p> <p>「障害福祉のあんない」のアプリ版の紹介と、冊子版の変更点について説明</p> <p>せっかく新しいものをつくっても使われないとしようがありませんので、我々も広報に努めたいと思います。委員の先生方もぜひよろしく願いいたします。続いて、報告事項6、精神保健福祉対策事業について、事務局、説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 山口会長</p>	<p>(6) 精神保健福祉対策事業について</p> <p>精神保健福祉分野における主な事業の実績と、こころの健康相談センター所報について説明</p> <p>ただいまの説明につきまして、委員の皆様、ご意見・ご質問はございますでしょうか。（意見・質問なし）</p> <p>これで本日の報告事項は全て終了いたしました。これをもちまして、本日の</p>

事務局	<p>審議を終了いたします。委員の皆様、ありがとうございました。司会を事務局にお返しいたします。</p> <p>3. 閉会 事務連絡</p>
資料・特記事項	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 依存症対策事業について ・資料2 次期自殺対策計画の策定について ・資料3 令和3年度横浜市精神障害者退院サポート事業実績報告 ・資料4 障害者プラン市民説明会の報告について ・資料5 「横浜市障害福祉のあんないアプリ」のリリースについて ・資料6 精神保健福祉対策事業について ・資料7 こころの健康相談センター所報について ・資料8 横浜市精神保健福祉審議会条例 ・資料9 横浜市精神保健福祉審議会運営要綱 <p>2 特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回の審議会は、年明け以降に開催予定。日程は後日調整。